

北へ行こう

カシオペアと北海道ゾーン切符を利用した北海道旅行(1999/08/17 ~ 1999/08/24)

昨年のサンライズに続いてニュースで取り上げられた新型寝台特急「カシオペア」ですが、隔日運転の上に旅を楽しむというコンセプトで客車寝台として新造という事で、切符の確保の難易度はサンライズの比じゃありません。

しかもサンライズと違って起きたら北海道という事にしたかったので今回は旅行代理店に苦勞して貰いました。起きたら東京はちょっとねえ・・・。

今回もゾーン切符を使いました。カシオペアは夕食の予約も必要なので食事券も持っていたのですが、切符には僕の本名(笑)が記載されているので掲載しません。(^^;



カシオペアに関しては別途書きましたので、こちらではそれ以外について書いてみました。では詳細を御覧ください。

北海道 第1日目(1999/08/18)

札幌 小樽 小樽築港 札幌

とりあえずニセコエクスプレスとフラノラベンダエクスプレスを撮影。



札幌駅にて荷物をコインロッカーに入れて小樽へ移動です。

それにしても快速が妙に混んでいるので鈍行で。急ぐ理由ないし。(^^;

6年前に北海道に来た時はJRは使わなかったけど、普通列車は二重窓なんですね。

冷房設備が扇風機ってのは今年の暑さでは泣けます。

小樽は僕は寿司、相棒は石原裕次郎記念館が目的。

函館本線は銭函辺りから海沿いに走行します。どこまでそうなのか知らんけど。

波も荒いののに海パンの人達がいるのが謎。(^^;



小樽着。日の当たる場所は陽射しが強いけど風が涼しいので丁度いいんですが、日陰は肌寒い。これは厳しい。(^^;

運河や土産物を物色するが、男同士でくる場所じゃないなあ。(苦笑)
家族連れやアベック(死語)ばかり。いや、わかってはいたんだけど。
ガイドも「小樽運河・水面に古い倉庫群とガス灯を映し出すロマンチックエリア」というくらいだから、しゃーないですな。とほほ。



寿司屋通りに移動、しかし値段は横並び。つまらんなあ。結局路地に入ったところにある店で寿司を食いました。うーん、期待し過ぎですかねえ。

うまいと思うけど、これは海に近い街なら多分どこでも食べられるという美味さであって、小樽だから、寿司屋通りだから特別というわけじゃないと思います。ちと拍子抜けでした。しかも今年の北海道は異常な暑さなので、食中毒対策で冷凍物を使われても多分僕はわからなかったでしょう。

ちょっとがっかりしながら小樽築港にJRで移動、石原裕次郎記念館を見たのです。駅から結構歩きます。(^^; 20分くらいですかね。

石原裕次郎といっても僕は「太陽にほえろ！」や「西部警察」のイメージしかない年代のせいかなピンとこないです。(^^; お土産にとりあえずテレカを購入して、とっとと出る。(笑)



マイカル小樽の西部警察展の方が燃え。(笑) 今見ても派手ですなアクションが。(^^;
ノリで西部警察のサウンドトラックは買いそうになりました。(笑)
よくわからん食べ物に長蛇の列が出来ていたので撮影。



札幌に戻って荷物をロッカーから出し、チェックインしました。
今回このホテルは初日と最終日に使ったのですが、修学旅行などでよく利用される
との事、どうりで部屋に冷蔵庫やペイTVがないわけで。(笑)

で、地元の仲間 Kui 氏に会う。お久しぶりですね、うお6年ぶりですか、お互い
変わっていませんねえ、などと。(笑)

相棒の Note PC のバッテリーを探すという事で、北海道まで来て何故か T-ZONE など
を案内してもらう。その後にアニメイト(笑)などを見る。同人誌の値段を見たけど、
うーん高い。送料などを考えると仕方ないですよ、と言われるけど納得いかないです。

相棒は今回北海道は初めてという事で赤レンガの道庁旧庁舎や時計台などを見て
回ったのです。僕は相棒の記念撮影マンに徹していました。(^^;

その後、ススキノを通過、有名なラーメン屋へ。しかし定休日。(爆)
急遽サッポロビール園で夕食を取ることにしました。混んでいるのではと思い
電話で確認したのですが「席は問題ないですよ、ただオーダーストップまで
1時間程しかありませんが」との事、問題ない(おい)との判断で
タクシーを飛ばして向かいました。

時間的に食べ放題などは多分ペイ出来ないだろうという事で単品を注文しました。
相変わらずビールもジンギスも美味かったです。(^^) やっぱビールですよビール。
出来たてを持ってきてくれるのですからね。



涼しくなったので宿まで話しながら歩いて帰りました。
最終日 Kui 氏には再び会えましたが、区切りという事でこの日は
お付き合い頂いてありがとうございました。